



# 取扱説明書

本書はSSシステムの施工・取り扱い・注意事項を記載しています  
必ず御施主様へお渡しください



ご不明な点がございましたら下記、または弊社ホームページへお問い合わせください

本社/〒577-0012 大阪府東大阪市長田東1-4-15  
TEL:(06)6789-1234(代) FAX:(06)6789-1231

東京支店/〒130-0023 東京都墨田区立川3-6-8  
TEL:(03)3634-6180(代) FAX:(03)3635-5766

## SSシステムを施工される方

施工される前に必ずお読みください。また届きました商品サイズ、色、数量のチェックを行ってください。品質の管理は徹底して行なっておりますが、万一品質に不良がありました際は、販売店または弊社までご連絡ください。保証内容につきましては裏面のページまたは、弊社ホームページをご確認ください。

- 施工の注意** 木下地(芯柱・間柱)・下地合板(12mm以上)にサポートをビス固定してください。下地のない位置へサポートを取り付けるとビスやサポートが抜け落ちてしまいます。
- 施工の注意** 柱の取り付け施工は上下を間違えず、水平・平行を正確に出して行ってください。精度が低い場合、棚などの可動困難やカタつき、不確実装着による突然落下の恐れがあります。
- 施工の注意** ビス穴は開いたりせず全てビスのみしてください。開いた場合耐荷重が著しく低下、及び壁面ゆがみの原因となります。
- 施工の注意** タッピングビスは正確にまっすぐ取り付けてください。はみ出した頭や斜めになったビス本体で棚受けの爪をしっかりスリット穴に装着する事ができず、耐荷重低下の原因となります。
- 施工の注意** タッピングビスは適正工具・適正トルクで正しく取り付けください。過剰トルクではビス頭部弱体化による耐荷重低下やドライバー満破損による取り付け失敗の恐れがあります。
- 施工の注意** 接着剤や酸性薬品は錆びの原因となります。また、養生は必ず専用の微粘着性のものをご使用ください。ガムテープや乾燥後のクロス剥がしは、塗装製品の場合剥がれの原因となります。
- 施工の注意** 面取り加工を出して頂いたしますが、切断面のケガや破損事故などない様きれいに面取り加工をするか何らかの保護材で覆い安全を確保してからご使用ください。

## お施主様

ご使用になる前に必ずお読みください。間違った方法での設置や移動、また取崩を行なうと思わぬ事故やケガに至る可能性がありますので、取り扱いには十分に注意してください。本書にそわず取り扱いを行なった場合につきましては、弊社での保証は致しかねますのでご了承ください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、説明しています。

**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危険・損害の程度を示す。

(※1) 傷害とは、身体に入院や長期の通院を要しないケガ、骨折、重傷などを指します。  
(※2) 物的損害とは、家財、家具に及ぶ重大損害を指します。

本文中に使われている記号の意味は、次のとおりです。

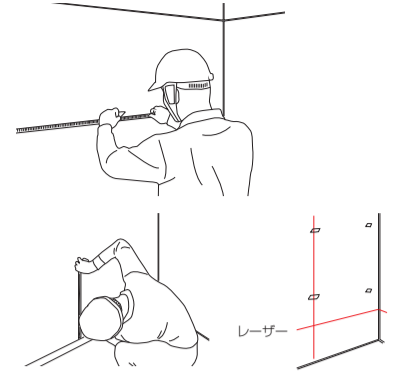
- 「してはいけない」を示します。
- 「必ず行なっていただくこと」を示します。

**注意**

- 禁止** 絶対に棚板の上に乗らないでください。破損・落下・転倒してケガをする恐れがあります。
- 禁止** 絶対に棚パイプにぶらさがらないでください。破損・落下・転倒してケガをする恐れがあります。
- 禁止** プラケットより極端に前にはみ出す棚板は使用しないでください。先端に荷重がかかった場合、後部はね上がりの原因となります。(特に簡易固定ダボでの固定の場合は注意)
- 注意** ビス止めされた棚板のレイアウトを変更する時は、1人で作業をしようせず、安全のため2人で行ってください。思わぬ事故やケガに至る恐れがあります。
- 注意** 木棚用プラケットのビス止めは爪が固定され、精度によりましては棚板の上下可動が困難となる恐れがあります。可動が困難な場合はビスをゆるめてから可動してください。
- 禁止** 取り外したハンガーを再度ネジ固定する場合は、適正工具(ドライバーなど)を正しく使用するなどして確実に固定してください。
- 注意** 使用するサポート、使用するプラケットによって安全目安重量が異なります。安全目安重量をご確認いただき、収納物の重量を考慮してください。

## ■ 墨出し 1 (マーキング)

「サポート」を取り付ける位置を決めます。マスキングテープを貼り、マーキングしていきます。



## ■ 墨出し 2 (水平・垂直)

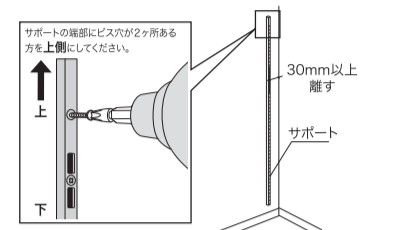
サポートを取り付ける下場位置を決め、レーザーなどで水平垂直をチェックします。



## ■ サポート(1本目)の取り付け

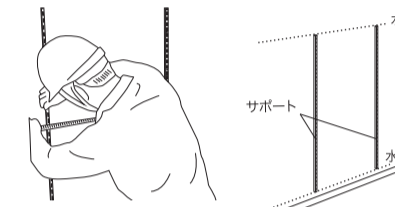
墨だし後、サポートを当てがい、あらかじめビス穴をキリであけておくことビス止めがスムーズに行なえます。必ず専用ビスで取り付けてください。また、耐荷重性能が著しく低下しますので、ビス穴にはビスをすべて取り付けてください。

**取り付け注意** 「サポート」は入角や端から必ず30mm離して取り付けてください。



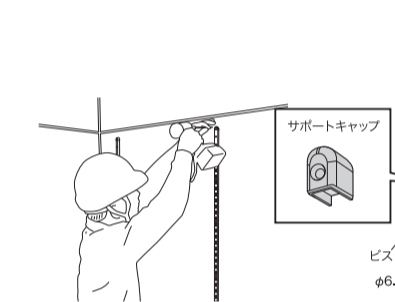
## ■ サポート(2本目以降)の取り付け

最初に取付けた「サポート」と2本目以降の「サポート」が水平になるように取り付けてください。



## ■ サポートキャップの取り付け

「サポートキャップ」を同梱のビスで取り付けてください。

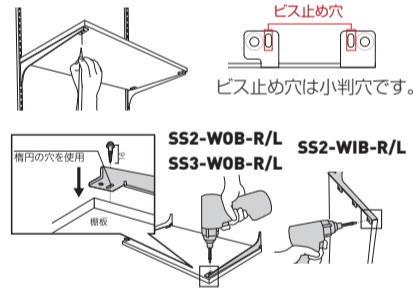


## 棚板プラケット

### ■ ビス止めの場合

「プラケット」の上に「棚板」を載せて、ビス止め位置をマーキングし、ビスで止めてください。穴あけまたはビス止めする場合は、傷がつかないよう床を養生し、裏返してプラケットを当てがい、作業を行なってください。

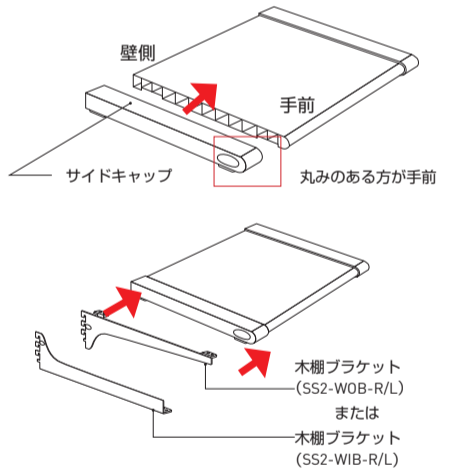
両手で確実に棚(プラケット)をサポートへ取り付けてください。棚板の位置を変える時に、プラケットの爪部が入りにくい場合は、プラケットのビスを少しゆるめてください。



### ■ 樹脂棚のセッティング

樹脂棚板とサイドキャップの丸みがある方が手前になります。キャップを樹脂棚板の木口に取り付けてください。(左右あり)

木棚プラケット(SS2-WOB-R/LまたはSS2-WIB-R/L)の棚受け部をサイドキャップの差し込み口へ、外側から内側に向けて差し込みます。



### ■ ダボを使用して棚を載せる場合

事前に右記の算出図を参考に棚板にダボ穴を開けます。※ダボ穴の径・深さは右記「ダボ式棚板用ピン」のサイズを参考に加工を行なってください。ピンがしっかりと入るようにして棚板を取り付けてください。

**SS2-WOB-R/L・SS3-WOB-R/L 使用の場合**

シングル シングル シングル ダブル ダブル ダブル

芯 芯 芯 芯 芯 芯

※D寸法 プラケット呼び名 ※50mm

※SS3-WOB-R/L 呼び名 250以上は 100mm

シングル シングル シングル ダブル ダブル ダブル

芯 芯 芯 芯 芯 芯

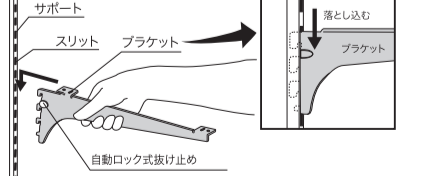
※D寸法 プラケット呼び名 ※50mm

φ5 ダボ式 棚板用ピン

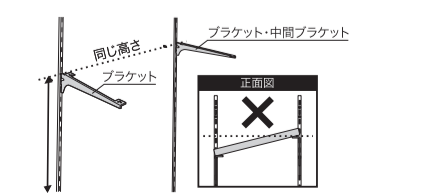
### ■ プラケットの取り付け

「サポート」のスリットに「プラケット」を差し込み、爪部をしっかりと落とし込んでください。

※プラケットを外す時は、抜け止めを事前に引き自動ロックを解除してください。



取り付けした「プラケット」と必ず同じ高さになるように、2本目以降の「プラケット・中間プラケット」を同様に取り付けてください。両手で確実に棚をプラケット(ダボ)へ設置してください。

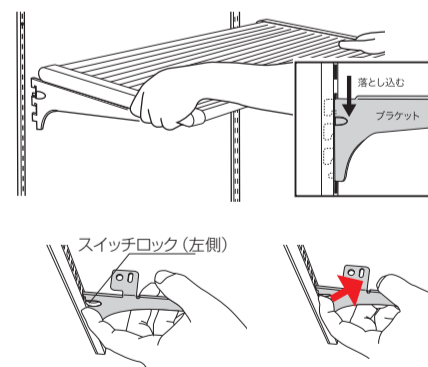


両手で確実に棚(プラケット)をサポートへ取り付けてください。爪部をしっかりと落とし込んでください。

※プラケットを外す時は、抜け止めを事前に引き自動ロックを解除してください。

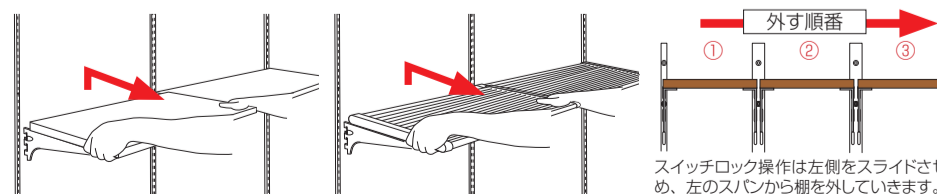
### ■ プラケットの外し方

「スイッチロック」の左側をナメ手前に引き、カチッと固定します。(戻らなくなります) プラケットを手前に引き上げると外せます。



### ■ ダブル展開時のプラケットの外し方

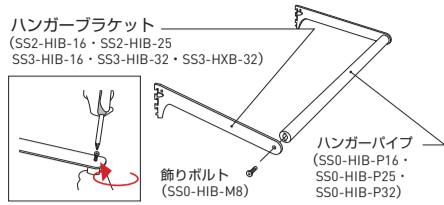
2スパン以上の時は、スイッチロック操作の関係上、向かって左側のスパンから順番に棚を外して行ってください。



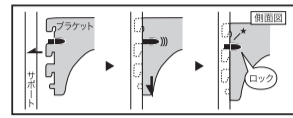
■ ハンガーのセッティングと設置

ハンガーブラケットとパイプを、飾りボルト (SSO-HIB-M8) で固定します。

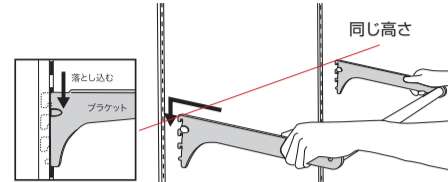
※プラスチックドライバーが必要です



サポートのスリットにハンガーブラケットを差し込み、左右の高さが同じであることを確認し、爪部をしっかりと落とし込んでください。



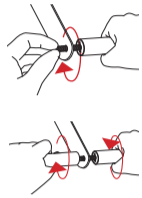
※ブラケットを外す時は、抜け止めを事前に引き自動ロックを解除してください。



■ ハンガーパイプを連結する場合

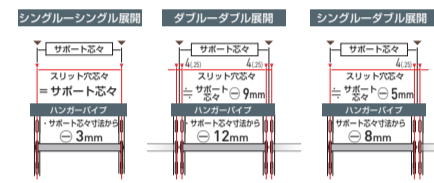
連結ボルト (SSO-HIB-M8C) を使用すると、2 スパンに渡るハンガーの展開ができます。連結ボルト (SSO-HIB-M8C) を図のように通してハンガーパイプにねじ込みます。

もう一方のハンガーパイプ (SSO-HIB-P16) にねじ込みます。

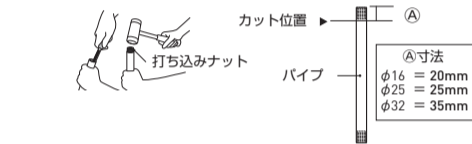


■ 内々展開時のハンガーパイプの納まりとカット

パイプの片方をカットし、パイプの内バリをヤスリで落とします。その後、打ち込みナットをパイプに当てて樹脂または木のハンマーで徐々にたたき入れます。



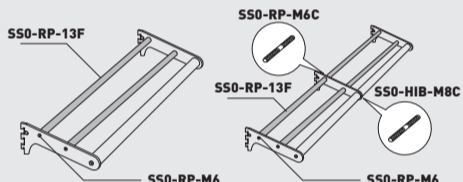
パイプカッターは、パイプをカットするとバリが内側に入り込み、ヤスリで落とせないため、使用しないでください。



■ ハンガー補助

補助パイプ (SSO-RP-13F) を使用すると、ハンガーの横ブレを抑制できます。補助パイプの取り付け方は、上記取り付け方法と同じです。

お客様で補助パイプ (SSO-RP-13F) をカットされる場合はインローパーツ側のみを切り落として上記寸法図より、さらに $\ominus 6\text{mm}$ してください)



警告・注意

SSシステムをご使用になる前に下記、警告・注意事項・メンテナンスをよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。

警告

- 警告を守らない場合、前触れなく棚が落下するなどの突然の事故、その他破損事故が発生する恐れがあります。
- 注意を守らない場合、施工作業中の事故や通常使用動作に伴う人身事故、破損事故の発生又は製品そのものの機能を果たさなくなる恐れがあります。
- 他社製品との併用はお止めください。たとえ取り付けが可能であっても、材質や製造方法の違いにより耐荷重性能や安全性が確保できない恐れがあります。
- 棚を設置する場合は必ずブラケットを同じ高さに取り付けてください。段違いに取り付けを行なうと棚板や収納物のガタツキや脱落の原因となります。
- 部品が確実に取り付けられていることをご確認ください。(ブラケットツム部分嵌合など) 取り付けが不十分な場合、部品・収納物が落下してケガをする恐れがあります。
- 棚板の上には乗らないでください。破損・落下・転倒してケガをする恐れがあります。
- パイプにぶらさがらないでください。破損・落下・転倒してケガをする恐れがあります。
- 安全目安荷重値よりも重いものを収納しないでください。部品・収納物が落下してケガをする恐れがあります。
- 安全目安荷重値以内であっても、集中的な荷重や、乱暴な積載はお避けください。
- 荷重は壁で支えます。製品取り付け前に必ず丈夫な壁下地があることをご確認ください。部品・収納物が落下してケガをする恐れがあります。
- 他社製品 (木棚) を使った場合はブラケットの安全目安荷重ではなく木棚の規格 (JIS など) をお守りください。
- サポート類は上下を逆にせず、必ず商品に記載の上下をお守りください。ブラケットのツマがスリットに入らなくなり、落下事故につながります。

注意

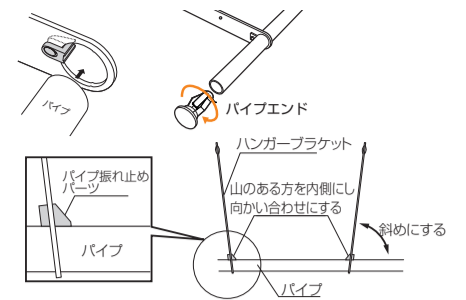
- 当 SS システムはロイヤルの別ブランド「AA システム」と互換性がありません。
- SS システム「シューノ 19」と「シューノ 32」は互換性がありません。
- 当社製品はすべて屋内用です。屋外では使用しないでください。
- 製品に直接水をかけたり、濡れたものを置いたりしないでください。製品不具合の原因となります。
- 棚板やハンガーパイプのレイアウトを変更する時は、1 人で行なわず安全のために 2 人で行ってください。
- 製品の改造はしないでください。製品の強度が失われる可能性があります。
- カタログに記載している製品のカット対応は行ないませんが、カット後の切断面については耐食性が低下しますので、サポートについてはサポートキャップの使用をお勧めいたします。
- 製品に粘着テープ (養生テープ・セロハンテープ・シール等) は貼らないでください。製品表面の不具合の原因となります。
- 溶剤・薬品・油・インクなどが付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。

メンテナンス

- 日常のお手入れは乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶剤や研磨剤の入ったクリーナーを使用すると製品のサビ、剥離の原因となります。
- 収納内部には湿気がこもりがちです。結露やカビの発生原因にもなりますので、時々内部の収納物を出して、十分な換気を行なってください。

■ オーバーハングタイプのセッティングと設置

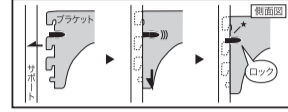
ハンガーブラケットにパイプを通し、パイプエンド (SSO-HOB-E25・E32) を取り付けます。



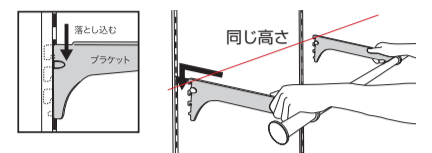
「ハンガーブラケット」は左右があります。右図のように、パイプ振れ止めパーツの山側がそれぞれ内側に向くようにパイプをハンガーブラケットに通します。その際、パイプは斜め方向に挿し込むと通りやすくなります。

パイプ振れ止めパーツはドライバーでの締め込みは不要です。また、パイプ振れ止めパーツは取り外さないようご注意ください。

サポートのスリットにハンガーブラケットを差し込み、左右の高さが同じであることを確認し、爪部をしっかりと落とし込んでください。

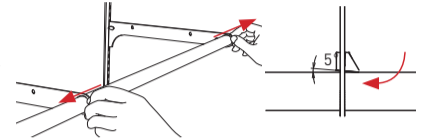


※ブラケットを外す際は、抜け止めを事前に引き自動ロックを解除してください。



■ ハンガーパイプを固定する

ブラケットをサポートに取り付けて、ブラケットを外側へ広げていくとテンションがかかり、パイプの動きが抑制されます。



■ オーバーハング展開時のハンガーパイプの納まりとカット

パイプの片方をカットし、パイプの内バリをヤスリで落とします。

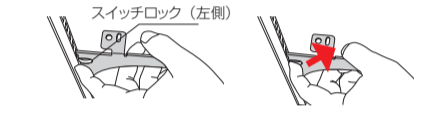
パイプカッターは、パイプをカットするとバリが内側に入り込み、ヤスリで落とせないため、使用しないでください。



ハンガーパイプの寸法はエンドパーツの厚み分 (3mm ずつ計 6mm) をマイナスした寸法でご注文ください。

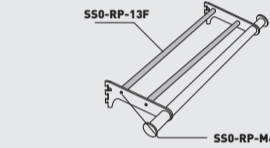
■ ブラケットの外し方

「スイッチロック」の左側をナメ手前に引き、カチッと固定します。(戻らなくなります) ブラケットを手前に引き上げると外せます。



■ ハンガー補助

補助パイプ (SSO-RP-13F) を使用すると、ハンガーの横ブレを抑制できます。補助パイプの取り付け方は、上記取り付け方法と同じです。



■ クロスパイプφ19 取り付け手順

- ① 半透明のジョイントパーツをハンガーパイプに取り付けて、壁側へ SS3-HXS-19 パイプを通します。
- ②
- ③ U字のパーツを SSO-RP-13F パイプの下から当てがい、SS3-HXS-19 パイプの先端を通した後、壁側先端パーツをねじ込みます。
- ④
- ⑤ キャップを上からかぶせ、固定します。

品質保証について

対象製品

保証の対象製品は、原則として当カタログ掲載製品とします。(特注製品は含みません。)

保証事項

通常的环境下で、当社のカatalog・施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態で当社の責任に起因する製品の不具合に関しましては、当社製品のみ無償で対応いたします。尚、本内容は日本国内においてのみ有効です。

保証期間

当社製品の施工完了後、または物件引渡後に生じた、当社の責任に起因する製品の不具合を無償で対応する期間としております。保証期間経過後の対応については有償となります。保証期間は出荷日から 1 年間とします。ただし、販売店等への納入日から 2 年を超えないものとします。

免責事項

- 製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外になります。
- ① 建物の設計・施工に起因する不具合
  - ② 施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
  - ③ 使用上及び施工上の故意・過失または不当な改造による故障及び損傷
  - ④ 天災その他自然現象・周辺環境等に起因する不具合
  - ⑤ 室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取り付けられたことに起因する不具合
  - ⑥ 極端に乾燥を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取り付けられたことに起因する不具合
  - ⑦ 建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
  - ⑧ 入居者又は第三者の不適切な使用又はメンテナンス等に起因する不具合
  - ⑨ カatalog・取扱説明書・施工説明書の記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、摩耗、破損、変形などの不具合
  - ⑩ 経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変色、汚れ、サビ、カビ、劣化摩耗などの不具合
  - ⑪ 用途外に使用された場合の故障および損傷
  - ⑫ 本来の目的 (一般住宅) 以外の用途に使用された場合の不具合
  - ⑬ 犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合や虫害に起因する不具合
  - ⑭ 仕上面のキズ、ヘコミなどの不具合で開梱時に申し入れがなかった場合 (到着後すぐその場での開梱をお願いします)
  - ⑮ 保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
  - ⑯ 納入後の運搬・取扱・施工に起因する不具合
  - ⑰ 製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する不具合
  - ⑱ 離島など遠隔地へ出張を要する対応を行なう場合、出張に要する実費
  - ⑲ その他当該不具合の発生が当社の責によらない場合

性能保証

- ① 下地材に係る性能 (防火性能、堅強度など) は、設計・施工を伴う総合的な性能である為、保証対象外とします。
- ② カatalog等に表記している各種性能データ等は一定の条件下で測定された参考値であり、保証値ではありません。保証方法保証期間内に「保証事項の対象となる不具合」が生じた場合、次の方法により対処します。
  - ・代替製品の無償提供
 尚、当社が出張しての交換・修理を行なうことはできませんので、ご了承ください。

©カatalogの改編のタイミングにより、WEBに掲載の情報と差異が生じる場合がございます。ご了承ください。